

しめ 議云 だより

令和7年
(2025)
2月1日発行
NO. 111

志免町議会年末感謝祭

志免町
議会初

議云主催！ 議場コンサート

3月定例会	6月定例会
9月定例会	12月定例会

- 志免町議と語る会…………… P 2～P 5
- 令和6年度一般会計補正予算 …… P 6～P 7
- 主な条例など…………… P 7
- 次バリ町政を問う！…………… P 8～P 13

志免町議会公式SNS



Instagram
Facebook
議云の情報を発信中！

今より面白くできる

議員紹介



議会活動



動画を
作ったのでみてね!



PTAと
地域との交流が
希薄に
なっている

スポーツや
文化活動への
協力支援、
補助金を
増やしてほしい

公民館の活動や
開放の工夫を

文化発表できる場の
復活を(シーメイト
エントランスホール等)



指して 会を開催

プログラム

1. 開会宣言
2. 議員紹介
3. 町議と語る会
4. 発表(2分程度にまとめ、発表)
5. 閉会挨拶

参加者数

67名

合いをおこないました。

へ継承するために り手不足”“担い手不足”～

スポーツ・
文化協会役員

消防団

町会議員



町の助成金
分配方法の
検討を



スポーツイベントの
参加者集めが
大変

世代間交流の
イベントへの
参加促進を

イベントや
行事で人の
つながりを
広げては?



町内会活動を
簡素化して
シニアクラブの
活動内容を
もっとアピールして



町からの助成金upを
してほしい

ボランティア団体の
高齢化が心配





志免町議
と
語る会

きっと志免は

町内会費は
街路灯などにも
使われている事を
周知する

コミュニティ
スクールでの
南小の取組が
よい

団員報酬や
各分団への
補助金を増やして

シニアが
参加しやすい
イベントを増やして



世代を超えた助け合いが
大切では
時代に沿った公園の
変革をお願いしたい

第14回
11月22日

開かれた議会を目
志免町議と語る

グループごとにワークショップ形式で話し

今回のテーマ

志免町を未来
～どう思う？“成



町内会役員

PTA役員

シニアクラブ役員



福祉活動の
楽しさを
知りたい

消防団への
子どもの
体験入団や
操法大会の
見学をやって



議員報酬が
少ないのでは



シルバー人材
センター会員の
確保

文化協会の
若い会員や指導者の
確保

イベント等での
次世代人材との
世代間交流が
大事



ありがとうございました



めに ～どう思う?“成り手不足”“担い手不足”～

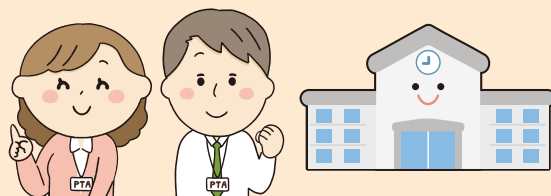
委員会継続審査していきます！

町内会役員の担い手不足は…

- 町内会活動の明確化や、簡素化への取り組み
- 世代間交流や、人のつながりを広げる活動を増やす
- 防災部を作り、コミュニティの絆を深めていく
- 町内会費は、防犯灯や消防団活動費などにも使われていることの周知

PTA役員の担い手不足は…

- DVD 等映像を活用し、活動内容を分かりやすくしていく
- コミュニティ・スクールへ保護者の方々が積極的に参加をしてもらう



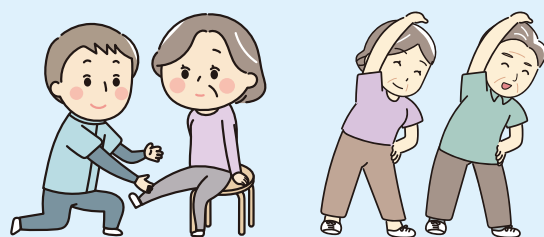
消防団への入団促進は…

- 町の企業に対して団員活動への理解や支援についてお願いする
- 小中学生への体験入団や操法大会見学などの働きかけの必要性



シニアクラブ役員の担い手不足は…

- シニアクラブ活動の魅力推進（楽しさやフレイル予防のお知らせ）
- 補助金 up を



その他の団体、ボランティアの担い手PRは…

- まちづくり支援室の周知
- 見やすいホームページを目指す



総括

どの団体も役員の成り手不足。これまでのようなボランティアでは成り立たなくなっている。報酬なども含め、抜本的に改革や見直しが必要。町主催の行事、支援や補助金の検討に対しても熟議していきます。



今回のテーマ

志免町を未来へ継承するた

誌面でお答えします！

問

語る会で出た意見のフィードバックを
してもらいたい。

答

一般質問や議会としての提言ができるように
努めています。

問

議会、議員の情報発信・SNS 等でのコミュニ
ケーションが求められているのでは。

答

今年度より議会でも SNS 発信をおこなって
います。ぜひ、フォローをお願いいたします。

問

シーメイト利用についての今後の課題は。

答

シーメイト特別委員会で協議しています。

問

議員さんに町の行事に多く
参加してもらいたい。

答

ぜひ参加していきたい。今年はスポーツフェ
スタに議会チームとして参加しました。

問

語る会のテーマを事前に知りたい。

答

ポスター掲示や SNS 発信でお知らせしていま
すが、今後もっとわかりやすくしていきます。

問

もっと若い人にも参加してもらったら？

答

若い人に参加してもらえるよう努めます。
中学生との意見交換会は継続していきます。

今後、議員の一般質問へ

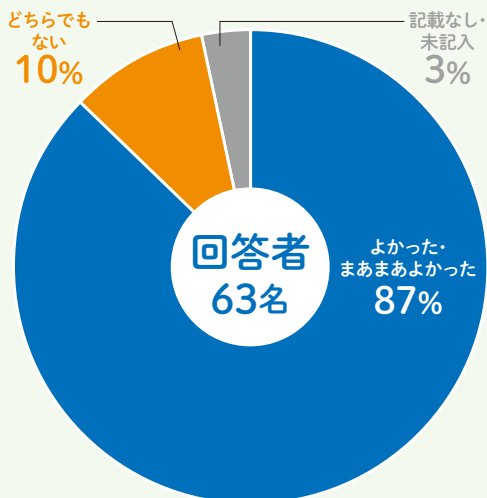
●町内会活動の再構築へ向けた取り組み

●町主催の行事検討や支援、補助金の検討



アンケート（ご意見・ご要望）

（議員と語る会）感想



とても親身になって聞いてくださり、意見が言いやすかったです。（40代）

テーマに興味を持ちました。

議員さん、より良い町政を担ってください。（70代）



参加された人の意見がどう反映されているか？
具現化した施策があれば発表してほしい。（70代）

各グループ団体に絞ってやったほうがまとめやすいのでは。（30代）



議員さんと町について話せる機会はとても嬉しい。（30代）

福祉にも関わり当事者の意見も聞いてほしい。（30代）



若い方の意見を聞いてなるほどなと思った。（70代）





令和6年第4回定例会は、6日から13日までの8日間の会期で行われ、議案12件を原案の通り可決しました。

また、一般質問は12月9日、10日の2日間で9人が行いました。

令和6年度 一般会計補正予算

1億3,597万円増 ↑ 総額 189億5,134万円



町のお金 どうなった??

(予算常任委員会で審査を行いました。)

主なものを掲載



「のるーと志免」の 運行負担金を増額

..... 366万円増↑

年間利用者数が当初見込みより下回り、運賃収入も減少することが想定されるため、運航業者の運行欠損額を補填するもの



議員

乗りたい人はいっぱいいるのに、乗れないところが問題。多くて2,3人しか乗っていない。

答弁

設定時間の変更とか運転士のシフト変更などをしてきた。今後も改善していきたい。

議員

桜丘の登録者数が一番多い。スタートポイントを1台だけでも桜丘にしたらどうか。

答弁

予約しやすいような状況をつくっていきたい。

福岡県宿泊税交付金を基金化し積立金に

..... 613万円増↑

県全体の観光の底上げを行うために、市町村に交付された宿泊税を積み立てるもの

志免地区(福祉)公園を再整備するための測量設計委託料

..... 300万円増↑

公園完成から数十年経過し、望山荘は解体され、町の主要計画は改定されている。公園利用者のニーズも変化し、町として対応するため再整備基本計画を策定するもの

議員

意見要望を聞く場を設けるのか。

答弁

みんなの参画条例等に従い、子どもや町民の声を広く聞く。

専決 処分

衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民審査のため..... 2,180万円増↑



福岡県議会議員補欠選挙
(糟屋郡選挙区)のため..... 1,844万円増↑



ひとくちメモ

専決処分とは...

町議会を開催する時間的余裕がないため、町長が議会に代わって決めること



債務負担行為・主な条例

債務負担行為

町民体育館清掃業務委託について

..... **予算額 96万円(令和7年4月1日～令和8年3月31日)**

理由:年間を通しての業務で令和7年3月までに次年度分の契約事務を行う必要があるため

中学校部活動地域移行の民間委託モデル実施へ

..... **予算額 973万円(令和7年4月1日～令和8年3月31日)**

理由:令和8年度完全移行をめざし、令和7年度に民間委託にて6つの部活をモデル実施するため

学童保育加配支援員 増員へ

..... **限度額 2,400万円(令和7年4月1日～令和8年3月31日)**

理由:配慮の必要な児童に対応する加配支援員10人分の経費

ひとくちメモ

債務負担行為とは…事業が複数年度に渡る場合に予算の先取りを行う行為

主な条例の改正

宿泊税交付金基金条例の制定について

理由:県からの交付金を町の観光資源の魅力向上等に必要な経費の財源に充てることを目的とした基金を設置するための事項を定める必要があるため。

令和6年度交付額 613万円

これまでの宿泊税交付金活用事例
志免しおり



工事請負契約の締結の一部変更

シーメイト外壁等改修工事契約の金額を増額

..... **275万円増↑**

理由:新たに補修箇所が1,028箇所等発生したため

東小学校プール・東保育園解体工事契約の金額を増額

..... **148万円増↑**

理由:解体を進める中で、アスベスト追加除去・処分等が発生したため





佐藤 貴士 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



お互いを認め合う
まちづくりを

町長 現制度が
不足となれば検討する

小森 弘美 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 令和5年度からの移行開始で一年半が過ぎ折り返しだが、推進計画またはスケジュールの策定は。

答 志免町では、地域移行推進協議会を設置し志免町の方向性について協議をさせていただいている。令和8年度の休日の地域移行の具体的な方向性がみえてきたので推進計画を現在作成している。

問 地域部活動推進協議会でリー

答 法はどうしているのか。

問 部活動地域移行に向けた指導者の確保や募集はしていない。指導者の質に重点を置いた確保に取り組む確保に向けた人材バンクのような仕組みづくりに取り組んでいきたい。

問 地域移行の際、月会費を徴収するのであれば、徴収方法と会費の管理は誰が行うのか。

問 持続的に家族関係でお互いを守り合っていくファミリーシップ宣誓制度。粕屋町では令和4年4月より、この2つの宣誓制度が導入。志免町でも制度があれば将来的にパートナーとの生活に希望が持てるとの意見もある。ぜひ制度導入に積極的に取り組んでいただきたい。

答 県の制度では足りないという状況になれば考えていかねばならないと思う。

問 不在者投票の投票用紙の請求方法について、マイナンバーカードを利用したオンライン申請はできるのか。

答 準備はできている。来年3月県知事選には間に合う。

問 志免町では共通投票所の設置の計画はあるのか。

答 投票所を増やすと二重投票の危険性がある。システムの問題、場所の問題もあり、厳しい状況だが、状況を見据えながら、さらに調査等行いたい。

問 2024年10月現在で470自治体がパートナーシップ宣誓制度導入。志免町では導入は考えているか。

答 必要であれば町としても進めていかなければいけないが、今のところ県の宣誓制度で十分足りているのではないかと思います。

町長 導入に向け
取り組んでいきたい

選挙支援カードの
導入は

るには、核となる人材や様々なノウハウなどクリアしなければならぬ多くの課題があるが、子ども達が続いてスポーツ・文化活動を行う環境づくりに努めてまいりたい。



とうひょうしえん
投票支援カード

とうひょう 投票にお手伝いが必要な方は、このカードに書いて入場券（はがき）と一緒に投票所の係員に渡してください。

あなたがしてほしいことを選んでください。

☐ 投票用紙に代わりに書いてほしい（代筆してほしい）。

☐ そのほかの手伝ってほしいことを書いてください。

（例）

- ・声をかけてゆっくりと誘導してほしい。
- ・手をつないで案内してほしい。
- ・候補者名を読んでほしい。
- ・コミュニケーションボードを使ってほしい。

びょうき 病気やケガ、その他の事情によって投票用紙に文字を書くことができない方に代わり、投票所の係員がご本人の指示どおりに代筆します。

・ご本人の代わりに、投票所の係員が投票用紙に書くことは法律で認められています。

・投票所の係員以外の家族や同行者が代わりに書くことはできません。

投票支援カード 総務省

問 配慮が必要な方々への投票の支援について具体的な対応は。

答 視覚障害の方には、立候補者名は点字で用意。点字器も用意している。代理投票にも応じている。聴覚障害の方には、代理投票の場合、候補者名を指さしすることで対応。筆談等でも対応している。また、各投票所

問 志免町では投票支援カードの導入をしているのか。

答 状況に応じて投票していただくことは非常に大事。ぜひ導入に向けて取り組んでいきたい。





子どもの権利相談が 受賞、課題は

町長 充実させるのが、
先進地の役割

まるやま
ま
ちこ
丸山 真智子
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



部活動の地域移行について

町長 しっかり取り組んで
進めたい

答 部活動は、長与町のように
中心になる方を決めて進めては。

問 学校教育課が中心となって検
討し、計画立案段階に入り社会教
育課と一丸となって進めている。

具体的運用段階に入るので、経
験値の高い部活動コーディネー
ターの配置を検討している。

問 現在、指導者(有資格者)やボラ
ンティアの具体的な確保や募集方

答 地域移行を進めるにあたって会
費の徴収や管理、生徒の募集登録
出欠管理など不慣れな事務業務は課
題。志免町に合った事務局の体制づ
くりを進めていきたい。

問 志免町にも地域型のスポーツク
ラブが必要。指導者の確保や利用す
る生徒の把握、会費徴収等の管理も
一括ででき理想では。

答 総合型スポーツクラブを設立す

問 志免町に合った事務局の体制づ
くりを進めていきたい。

答 志免町が誇る子どもの権利条
例は九州で初めて制定され、17年
が経過した。

問 志免町が誇る子どもの権利条
例は九州で初めて制定され、17年
が経過した。

条例により設置された子どもの
権利相談室、子どもの権利救済委
員の取り組みが第19回マニフェス
ト大賞政策・まちづくり部門で優
秀賞を受賞。内容を共有したい。

問 内容は、相談員と小学生との手
紙(842通)交換、中学生への相
談(162件)対応。すべての子ど
もに手書きで返信し、必要に応じ
て関係機関と連携している。

問 令和5年12月に閣議決定され
た子ども大綱には、子どもの権利
が侵害された場合の救済機関とし
て、地方公共団体つまり志免町が
設置する相談救済機関の実態把握
や事例の周知を行い、取り組みを後
押しすると明記されている。

他の自治体の見本になるような



子どもの権利相談室 (スキッツ)

問 子どもの居場所リリーフは、建
物が老朽化している。対応は。

答 空調の入替え、雨漏り対策等は
行った。建て替えるのは難しい。

問 九州で初めて条例を制定し、今回
受賞されたことで志免町は注目され
ている。充実した内容にしていくな
が先進地としての役割だ。

問 九州で初めて条例を制定し、今回
受賞されたことで志免町は注目され
ている。充実した内容にしていくな
が先進地としての役割だ。



加齢難聴の 補聴器購入に補助を

町長 ニーズ調査し、
補助対象を検討

問 加齢による難聴で補聴器をつけ
ることは、認知症の予防になるとい
われている。

他の自治体で補助が増えているが
調べているのか。

答 大野城市、田川市、豊前市、みや
こ町、筑前町、大刀洗町、小竹町、吉
富町、上毛町の9市町。

問 財政的に厳しいところも助成が
始まっているが検討は。

答 国から交付される保険者機能強
化推進交付金の活用で助成を考えて



いる。
まず、高齢者の実態把握に努める。

その他の質問
●子どもたちの安全を守る見守
り隊の安全について





安河内 祐子
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



医療費助成を 高校生まで拡大を

町長 3町で協議し、
努力する

稲永 隆義
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 高齢者の方々が生きがいを感じるために大事なことは。
答 みんなが集い、自分が必要とされ、役に立っていると感じる居場所づくりが必要。
問 町内会の役割が大きいと思うが。
答 各町内会では誰もが参加できるサロンや介護予防教室の開催やシニアクラブ活動など行っている。

問 障がい者ご本人や家族も高齢化が進んでいる。自立支援や包括的支援の内容は。
答 福祉課に障がい者在宅支援センターを設置し、児童の相談には、し

問 アトピー性皮膚炎が完治しない高校一年生を持つ保護者から、「うちの子どもは、高校生になって子ども医療制度から外れ、医療費が増えたことで、家の負担になると気を使っています。親として子どもに心配かけたくないと思いました。」
うちの子どもには間に合わないかもしれませんが、同様のことで治療を諦め、悲しい思いをする子どもがなくなるように、高校生までの子ども医療制度の拡充を」との訴えがあった。
高校生にも医療費助成が必要と思うが、検討状況と方針は。
答 令和6年4月より、子ども医療費の支給範囲を、入院は自己負担なし、通院は1医療機関あたり1ヶ月の自己負担は就学前の子は無料、小学生と中学生は5百円に拡充した。

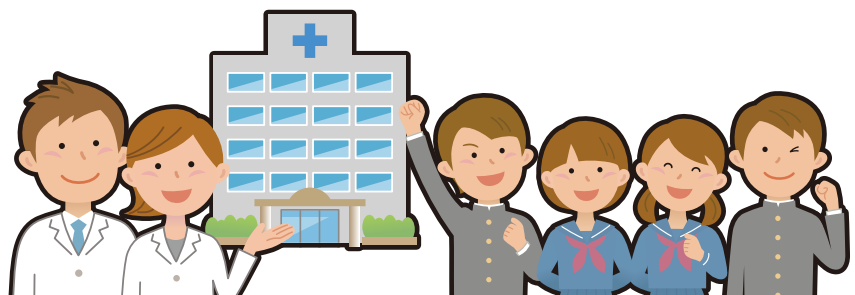
高校生までの拡大については、今年度の子ども医療費の助成を拡大した結果を確認して検討する。
また、医療圏が同じ粕屋中南部の町で検討して進める。
問 福岡県の60市町村の中で、高校生まで何らかの医療費助成を行っている自治体は28市町村。
県と糟屋郡の高校生への医療費助成の動向は。
答 県は特に変更はなく、糟屋地区では、古賀市と新宮町がすでに実施している。
町長会でも度々議題が上がっている。早い段階での高校生までの医療費助成は避けて通れない。
問 町単独で高校生まで、医療費助成を拡大した場合の想定額は。
答 年間5千万円くらいと思われる

答 一般就労を目指した就労移行支援事業と、それは難しい方が利用される就労継続支援事業がある。
問 講演会やイベントに障がい者の方々の参加推進のための対策は。
答 ボランティアの方が広報しめの内容をテープに録音配布されたり、要手話通訳の方に、福祉課からFAXで個別対応している。

応募したりしている。
問 先生方が啓発して、高齢者の方々や障がい者の方々に心を寄せる機会を作っていたきたい。
答 いかに人ごとを自分事として考えられるか...そのような教育を目指し、高齢者や障がい者の方々に寄り添う人づくりまちづくりが大事だと思う。

その他の質問
● 国民保護推進事業について
● 志免町の新型コロナウイルス対応記録について

が、システム改修費用等、費用はさらに増えると考えられる。
問 最初は通院だけを助成するとか、段階的に助成する方法は考えられないか。
答 段階的助成は待つてある方が多いのでしっかり検討する。宇美・須恵・志免の3町とも思いは同じだと思うので、いい方向性に行けるよう努力する。





授業料・給食費無償化へ 向けて

町長 国・県に対し要望書
提出を検討

牟田口 武史
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 維新の会は、授業料・給食費無償化が党のテーマである。教育に関わる経費は、国・県・町でどう関わっているのか。

答 教師用の教科書及び指導書は、小学校で今年度2323万円、令和7年度購入予定約720万円。この3043万円は町が支出。

また、小学校5年生以上の算数及び中学校の数学のデジタル教科書は、国の補助が全体の2分の1の学校しか対象になっておらず、残り半分の学校分は、町の負担が105万円となっている。

中学校の教科書は、令和7年度約761万円を予定している。

教材費は基本個人負担で、備品として購入するものは町が負担。令和5年度は、小学校分約247万円、中学校分274万円を町が負担している。

問 義務教育に約7億7000万円近いお金がかかっているのが現状ではないかと思う。給食費を無償化すると別に約2億4000万円かかるので、給食費無償化は、できないと報告を受けた。

町長 会や県・国に働きかけては。

答 無償化について、県・国に対して要望書を上げる事はできる。

問 障がい者就労支援対策の具体的取組みは。

答 障がい者就労支援対策の具体的取組みは、

問 小・中学校の現場、冷暖房等の経費は。

答 令和5年度は約7億7062万円。町が採用している、学級補助員27名の人件費を含む。

教育現場の現状は

学校教育参事
各校に学級
補助教員を配置

問 コミュニティスクールと学校保護者・地域の関係について。

答 小さなつながりを大切にすることで、地域の一員として自覚が子どもに芽生える。

問 教職員の働き方改革は。

答 行政と学校が一緒になって進めていく。



志免中学校



志免中央小学校

福祉体制充実への 取組みを問う

町長 寄り添う人と
まちづくりが大事

問 シニアクラブ部員数減少に対し、もっと活動の魅力発信をし、若者達との世代間交流や、一緒に盛り上げていく等考えてみては。

答 各敬老会行事の挨拶等で、シニアクラブ参加をお勧めし、七十歳から地域貢献...という意識改革が部員数増加になるかと。

問 地域との連携体制は。

答 災害時の避難行動要支援者台帳を作成し、避難の手助けが必要な方の台帳を整備している。

郡内でも、支援体制の充実強化を図っている。

問 障がい者就労支援対策の具体的取組みは。

問 小中学校における高齢者、障がい者の方々への理解や支援についての教育は大事だと思うが。

答 道徳の授業の中で、高齢者や障がい者の方々との生き方から多くを学び、実際にパラスポーツ選手との交流や車椅子体験、社会福祉協議会主催の中学生ボランティアスクールに



やさしさのつどい



志免町シニアクラブ連合会大会



おおいし いさむ
大西 勇 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



いねなが よしみ
稲永 義美 議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



町の賑わいづくりに 支援拡大を

町長 強いリーダーシップで
進めたい

問 本年行われた様々な催しの中で、次に挙げる催しの来場者数や参加人数・参加チーム数は ①ミニミニ大運動会 ②モルック大会 ③競技スポーツ体験 ④軽スポーツ体験 ⑤つながろう志免 ⑥志免町文化祭

答 各催しに多くの町民の皆様や各団体チームにご参加いただいた。①ミニミニ大運動会には、職場の仲間やジュニア団体チーム・仲良し家族のつながりチーム等々から参加が有り。モルック大会や競技スポーツ体験&軽スポーツ体験にも同様の方々からの参加があった。(別表1参照)

問 多くの参加者があり大変良い事だと思うが、30町内会からのチーム参加がない状況をどの様に考えているか。

答 各催しに町内会や関連団体の協力は不可欠と考えている。今後、公民館長会議で参加の呼びかけ、町内の回覧板で参加の呼びかけをさせていただいている。

問 各催しへの町の補助金増額が必要であると思うが。

答 補助金については、各行事毎に交付はしていないが、スポーツ協会、文化協会へは、収支や活動状況を確認した上で補助金増額について前向きに検討する。

問 支援を必要とする団体は、他にもあると思う。例えば町内会役員やPTA団体、消防団等々については、どう考えているのか。

答 各種団体等も含め、その団体の皆様の話をよく聞かせていただき、補助金については、いろいろな検討させていくと考えている。

問 保護司の現状と活動内容は、保護司確保の取組が進められていくと考えている。

問 公募して町独自の推薦制度という事についてどう思うか。

答 そういった地域において進めていける事例があれば町としても考えていく部分もある。

問 今年保護司の方が面接中に対象者に殺害される事件が起きた。

ていただく。

問 町に賑わいや活気をもたらす町主催や町が共催する催し開催時の交通手段について、休日でも「のー」と志免」等、町のバスを運行すべきではないか

答 「のー」と志免」は、3月運行開始から様々な改善を行ってきた。現在、日・祝日の運行は行っていないが、既に利用者から要望があがっている。それらを基にこれからも改善に努めていきたい。

問 最後に先日「議員と語る会」参加の方から次のようなお声を掛けられた。その方は初見の方だったが「私は今の議会・議員さんと町に期待しています。頑張ってください」と。

このような町民の声や期待に応え続けることが、我々議会・議員や町の行政の務めだと改めて思った。

問 面接場所の安全について、第三の場所、例えば公民館等を気軽に使えないか。

答 公共施設や公民館等協力体制が取れるように進めていきたい。

問 今回の事件をきっかけに自治体や町長会でも議論していくべきであり声を上げていくべき。

答 ボランティアの中で保護司ほど

【別表1 催しの賑わい状況】

催 し	開催日	来場者数	参加者数	参加チーム
ミニミニ大運動会	10月13日	2,000人	300人	20チーム
モルック大会	10月13日		55人	16チーム
競技スポーツ体験	10月13日	1,000人		
軽スポーツ体験	10月13日			
つながろう志免	10月13日	1,200人		
志免町文化祭	11月2・3日	12,000人	(昨年10,000人)	

問 この活動をどう評価されるか。

答 色々な活動をされ、また一緒に活動をさせていただいた。これまでのご尽力に対し、会員皆様方に感謝の気持ちでいっぱいである。



更生保護マスコット
キャラクター





大学、短大へ 奨学金制度を

町長 現状では厳しい

うしふさ
よしつぐ
牛房良嗣
議員



こちらから
一般質問の
動画が視聴
できます



問 子どもの教育についても、大学までの進学が一人目はいいが二人、三人となると厳しいのではないかと。そういうことに対し志免町の奨学金制度を大学、短大まで広げるように。町長はどう思われるか。

答 ご指摘とおり、厳しい現状にある。直接的な策とはいかないが、環境整備についてはしっかりと整えてまいりたい。

問 今、町にとって一番大事な点は2点あり、1点は出生者減少2点目は外国者数の増加である。出生者は、この十年で200名近く減少。町長は十分承知かと思うが、この少子化を食い止めるために、志免町はどのような施策をやってきたか。

保護司制度に対しての 思いは

町長 本当に大変な仕事と
思っている

答 今後、国においても公募制を含む。これから犯罪は増加し複雑化する。保護司の担い手不足の改善策として、これまでのように適任と思う人に声をかけて引き継ぐだけでなく、一般から公募して間口を広げる事に町はどう受け止めるか。

答 この事件を受け保護司の方々が安心して活動できる環境を改めて見直し、整備をしていく事が重要だと考えている。

問 保護司の処遇環境という事で複数担当制として二人で対応する事についてはどうか。

答 その活用が今後行われていく。



いる経緯があるが、奨学金制度については多額の費用がかかる。そういうこともあり、また同僚議員からも補助金や、高校生までの医療費問題などの提案もいただいている。奨学金制度については、国の制度を利用していただいたり、返済不要な制度もあるので、しっかりと皆さんに活用し、進めていただければと思う。

外国人と日本人との 融和を

町長 日本語教室通学者
も増えている

問 令和六年の志免町在住の外国人は901人。町長はどう考えるか。

答 色々な企業で、外国人が就労されている企業が aumentando。志免町においても、これからはもっと増えるのではないかとと思われる。

問 保育園や小中学校の入学、あるいは病院、色々な面で日本人と変わらな住みやすい環境づくりや、様々な行事に、できるだけ参加してもらい国際交流を、志免町はやってきた。福岡都市圏の中で生きられるような、そういう町にしていきたい。

大変であり再犯防止や職業支援等本
当に大変な仕事である。保護司の方
のご意見、ご要望等があれば町長会
でも検討していきたいと思っている。

問 保護司会と連携して活動してき
た更生保護女性会の活動内容は。

答 女性の立場から更生保護事業と
犯罪予防並びに非行防止のため更生
保護思想の普及啓発が目的。



答 日本語教室は、毎週木曜日に行
われている。今は以前より小規模に
なったが、国際交流パーティーは実
施している。日本にいられている外
国人の方に、日本での生活をしっか
り楽しんでいただくよう支援してい
くことも、我々の大事な仕事ではな
いかと思う。



更生支援に係わるボランティア団体



総務文教常任委員会

開催日 10月18日、11月8日、11月18日、12月3日



ブックスタート（赤ちゃんに絵本を）



14歳の14冊



VRシアター体験（田川市石炭・歴史博物館）



伊田竪坑煙突（田川市石炭・歴史博物館）

志免町の魅力発信 竪坑櫓の活用を

竪坑櫓の歴史的価値の認識

志免町の魅力発信について、竪坑櫓の観光資源としての歴史的価値の再認識と、今後の審査の参考にするため11月8日に田川市石炭・歴史博物館の視察を行った。

歴史博物館の運営は、田川市直営で学芸員の説明にも自負を感じた。展示内容は、VRやジオラマで採炭の様子が現れ、田川の歴史と民俗、山本作兵衛コレクションの展示、炭坑節の発祥地であることもアピールされていた。

委員会より

町も議会も歴史資料館などの施設が必要との認識は一致している。いつ、どこに、どのような施設を建てるのか検討するべき。

町民が行きたい図書館に

町立図書館の現状と課題

7月に行った武雄市図書館視察を基に志免町の図書館の現状と課題を審査した。

現状

令和5年度の、志免町の貸出冊数は、糟屋地区公立図書館では第4位。平成30年度と令和5年度を比較すると来館者数と貸出冊数はともに増加。令和5年4月1日より

取組

子ども向け読み聞かせや、手に取りやすい書架づくり等の取組や講座の開催、夏休み子ども工作教室等のイベント、赤ちゃんに本を贈呈するブックスタートや14歳の14冊を行っている。

課題

中高生の利用が増え、

本を充実させたいがスペースが不足している。子どもに読み聞かせをしない家庭の割合が増えている等である。

委員会より

職員や、ボランティア団体の方々が協力して、少しでも良い図書館への思いを感じた。今後、図書館の場所と広さの検討が必要。





厚生建設常任委員会

開催日 10月17日、11月14日、12月3日



認知症ケアパス



図書館で認知症とフレイル予防の本を展示



ふれあい公園



平成の森公園

今後どうする？ ふれあい公園（旧役場跡地）と平成の森公園

ふれあい公園は都市緑地として活用

旧役場跡地を利用し建設されている「ふれあい公園」の面積は0.22ha。公園種別は、都市緑地となっている。課題は夜間の防犯とスケートボードによる騒音問題。対策として地元町内会からの要望もあり、協議を重ねた結果、照明の消灯時間を調整したり、改修を進めることとなった。今後は地域住民が有意義に利用できるように進める。

平成の森公園は地区公園として活用

「平成の森公園」は、山の地形

要支援2、要介護2、要介護3の認定者数が大幅に増加

町の認知症施策の主なものは？

- 認知症ケアパス
- 認知症を知り、利用できるサービスがまとまったパンフレットで全戸配布予定。
- 認知症ささえあい上映会
- 令和6年度は、1回開催し、200名の申込みがあった。
- 認知症啓発イベント

を利用し、自然の中で遊び触れ合える公園として管理。面積は6.07haで公園種別は、地区公園。遊具は年間契約で点検を行い、健全度の低いものは撤去や修繕を行っている。展望台は11月に撤去した。

Q 木材を使った遊具を設置しているとのことだが、森林環境譲与税を活用できないのか？

A 遊具や東屋など活用は可能。今後、役場全体で話し合いたい。

委員会より

● 公園の利活用については、公園種別の目的の中で地域住民の声をしっかりと聞き、憩いの場として最大に活用

9月のアルツハイマー月間に、図書館に特設ブースを設置するなどの啓発活動を行った。

● 認知症の方を孤立させないモデル事業

● 認知症サポーター養成講座を受講した人のステップアップ講座を3年間でべ473人が受講

できるように進めて欲しいと要請。

ひとくちメモ 都市緑地とは

主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地

ひとくちメモ 地区公園とは

主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、1か所あたり面積4haを標準として配置するもの

委員会より

● 町は様々な取組みをしているが、明日は我が身、町民自らが自分ごととして捉えるには地道な啓発活動を繰り返し行うことが必要と要望した。



議会運営委員会

開催日 10月23日、12月2日



5階傍聴席に手すりを設置

●議会基本条例の見直しに着手

見直しについて協議し、「議員研修の充実強化」、「広報の充実」、「災害時の対応」、「主権者教育の推進」の4項目を新たに追加する方向で、改正に向け調整していくことにした。

●傍聴席に手すりを設置

より傍聴しやすい環境づくりのため、傍聴席に手すりを設置した。

●志免町議会議員の互助会組織に関する条例を廃止

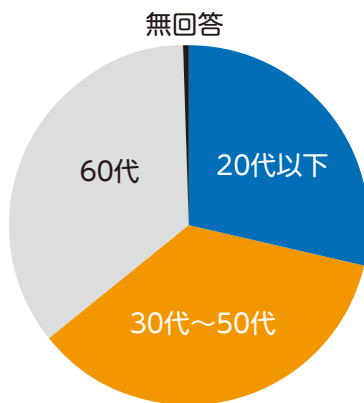
互助会組織の運営体制の見直しに伴うもの。

シーメイト調査研究特別委員会

開催日 12月3日

回答数

- 20代以下
- 30代～50代
- 60代
- 無回答



●シーメイトの今後のあり方について

前回のアンケート集約で20代以下のアンケート数が少なかったため、志免中学校、志免東中学校の両校へアンケートの協力をお願いをしました。両校で380件の回答があり、総回答数は、2,069件となりました。

年代構成は、20代以下28.6%、30～50代35.6%、60代以上35.5%。

目標の回答数を達成したので、今後は、アンケートの集約及び分析作業等のまとめに取り組みます。

議会改革特別委員会

開催日 10月29日、11月18日、12月3日



議会改革特別委員会の様子

今期の議会での取り組みで、議会だよりのリニューアル、SNSを活用した情報発信、ペーパーレス化、研修や議員間討議の実施、町議と語る会、中学生との意見交換会など多くの活動を確認しました。

今回初の試みで、志免吹奏楽団による演奏企画「志免町議会 年末感謝祭～志免吹奏楽団議場コンサート」について、当日の準備や役割分担、プログラム案など協議しました。

常任委員会等の任期の委員会条例の一部見直しや「志免町議会議員の互助会組織に関する条例を廃止する条例」の提案内容について確認しました。





視察受け入れ

開催日 10月29日



東浦町議会のみなさんと一緒に

●愛知県 東浦町議会

テーマ

『住民に対する広報活動について』

議員紹介動画制作に至った経緯、町議と語る会など議会改革の取り組みや議会広報の活動報告をして、質疑応答及び情報交換を行い、有意義な視察受け入れとなりました。

議会運営委員会・ 議会改革特別委員会

開催日

10月7日(岩手県奥州市) 10月8日(岩手県一関市)



奥州市議会



一関市議会視察研修の様子

●奥州市議会・一関市議会 視察

議会改革及び議会力・議員力向上の取組などを先進的に実施している両市議会へ視察を行いました。

両市議会ともに、志免町議会では実施していない政策提言等のガイドライン策定などの取り組みや、議員間討議など1歩も2歩も先に進んだ取り組みがあり、非常に参考となりました。

厚生建設常任委員会

開催日 11月5日(千葉県柏市) 11月6日(千葉県船橋市)



柏市議会



船橋市議会視察資料

●柏市議会・船橋市議会

健康増進とフレイル予防事業について千葉県柏市・船橋市へ視察研修を行いました。長期間取り組んできたフレイル予防や健康チェックについて、委員会として今後方向性をまとめる視察研修となりました。



2024年12月14日 /

志免吹奏楽団

志免町議会年末感謝祭

議場コンサート

主催者代表挨拶:議長 丸山 卓嗣

開かれた議会活動の一環として、気軽に議場にきていただきたい、政治に興味を持っていただきたい。そんな思いが込められています。そして今回は、感謝祭と題し、志免町議会のみならず、日頃より志免町を支えていただいています皆様へ感謝の気持ちを込めてご招待させていただきました。



司会者:藤瀬康司議員
(議会改革特別委員会委員長)



謝 辞:副議長 大西 勇



来賓挨拶:町長 世利 良末

この庁舎が昭和57年開庁いたしまして、おそらく初めての議場での催しではないかと思います。今日一日が素晴らしい一日になることを祈念申し上げます。

来場者の感想

- 感動で胸の高なり震えがとまりませんでした。
- 初めてのコンサートを目の前で見て最高でした。
- 歌詞はわからなくても口ずさむこともでき、涙が自然にでてきました。
- 志免吹奏楽団の演奏を初めて聴きましたが、立派なもので感激しました。
- できれば今後も続けてほしい。恒例化してほしい。



志免吹奏楽団:代表 谷 真由美さん

普段は、地域のイベントや夏祭りで演奏させていただいています。

今回、議場に初めて足を踏み入れましたし、もちろん演奏も初めてです。

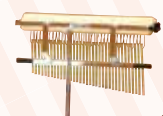
良い経験をさせていただき、とても嬉しく思っています。

志免吹奏楽団は令和7年で結成25周年を迎えます。より一層頑張っていきます。

機会があれば、いろんな場で演奏させていただきたく思います。お声かけください。



MC(曲紹介):田中 典子さん





議長活動報告



議長
丸山 卓嗣

令和6年9月～11月

12月議会を終えて

12月議会は、議会改革のひとつとして、一般質問、議案の審査・審議の効率化をはかり、集中的に短い期間で終えることができました。

また、定例会後の12月14日には開かれた議会を目指し、志免町議会年末感謝祭と題し、志免吹奏楽団議場コンサートを開催しました。

当日は、多くの方々にご来場いただき、たくさんの激励や感謝の言葉をいただきました。

さて、2025年は、任期4年の折り返しの年となります。議会といたしましても、さらに開かれた議会を目指し、議会改革を進め、志免町の発展につなげていきたいと思ひます。

日 程	件 名
9月 1日	石投げ相撲
6日	9月定例会【会期6日～20日 15日間】
10月 2日	戦没者追悼式
7日	議会運営委員会視察研修(7～8日)
16日	粕屋地区地域安全大会
18日	糟屋地区議長協議会
22日	宇美町志免町衛生施設組合議会
27日	糟屋地区美術展表彰式
28日	町村議長会第一部会
31日	粕屋南部消防組合議会視察研修(31～1日)
11月 2日	志免町民文化祭(2～3日)
3日	志免町表彰式 志免町商工まつり
5日	厚生建設常任委員会視察研修(5～6日)
10日	志免エール花火及び祭り
13日	町村議会議長会全国大会
14日	糟屋地区議長協議会視察研修(14～15日)
25日	志免西学童保育所太陽光発電システム寄贈式典
30日	年末年始特別警戒部隊出陣式

他にも9件、公務で町内会の敬老祝賀会や秋祭り、総会や会議等に参加しました。

全議員で研修を実施(12月16日)

テーマ

- (1)議会改革について
「議会改革度調査について」
- (2)議会基本条例について
- (3)議員間討議について

講 師

中村 健氏
(一般社団法人地域経営推進センター)

…研修を終えて…

一般質問様式や、議員間討議についての見識が広がりました。これからも議会基本条例に基づいた「町民に開かれた議会」を目指してまいります。



議会改革研修の様子

議員研修報告

テーマ

国民保護計画の武力攻撃事態への備えについて(全島避難・シェルター建設等)

説明者

石垣市総務部防災危機管理課 課長 富浜 公雄 氏
宮古島市防災危機管理課 課長 仲地 一政 氏

日時・会場

11月12日(火)・13日(水) 沖縄県石垣市と宮古島市

令和8年度に沖縄県を主体とした全島避難訓練が予定されていました。両市とも5万人もの住民を安全に避難させるには、課題が山積しているとのことでした。この美しい島が全島避難という事態にならない事を願うとともに、これからも注視して参ります。

参加議員 稲永 隆義

テーマ

適正な議員報酬・議員定数の算定手法を考える。

講 師

廣瀬行政研究所 廣瀬 和彦 氏

日時・会場

11月13日(水)京都JR研修センター

議員報酬算定基準方式

- 1, 執行部の職員給与基準方式
- 2, 職員給与を基準に議員の実働日数と比較
- 3, 55～59歳における平均給与を一つの基準等
そのためには自身の通信・広報をしっかり出して個人の活動の見える化が重要
議員は町民の代表として自信と風格と誇りを持つべき等

参加議員 大西 勇





商工会青年部とは

- **設立経緯**
商工業の後継者と青年経営者の資質向上と親睦融和を図るため。
- **活動内容**
＜しめエール花火＞ ＜チャリティーゴルフ＞ ＜祭りへの出店＞
- **目 標**
志免町を愛する事業主及び従業員が集まり、祭りや花火といった地域振興に尽力し若い力で町を盛り上げる。
- **困っていること**
大規模な事業は協賛で成り立っていること。
部員は近年増加傾向にあるものの35歳以下の部員が少ないこと。(青年部は45歳以下)

しめエール花火について

- **目 的**
志免町に喜びと活気を提供すると共に、これからの社会へ希望を持ってもらうこと。志免町立の中学校に通う3年生の生徒達の「夢・希望・願い」を集めて打ち上げること。
- **住民からの反応**
志免町内の住民を中心に老若男女問わず多くの方から花火及び祭りについて好評の声をいただき、花火玉の打ち上げは、生徒のご家族からも好意的な言葉をいただいている。



青年部が「議会」に期待すること

地域産業支援や観光振興、デジタル化推進、若者のリーダー育成、雇用創出などを議会に期待している。これらの施策が町の活性化と発展につながるように願っている。

議会より

青年部は地域発展の原動力であり、特にエール花火は多くの町民に希望と活力を与えてくれています。議会としても、その活動をしっかりと応援していきます。これからの地域を支えるリーダーとして、次世代に誇れる町づくりを共に推進していくため、経営者には入会していただきたいです。

編 集 後 記

議会広報特別委員会に所属し1年になりましたが、まだまだ不慣れで、苦手なパソコン作業も多く四苦八苦の連続です。
町民の皆様は手に取ってもらい、読んでいただける議会だよりを作成し、議会の情報を発信していけるよう今後も勉強していきます。

(佐藤 貴士)

議会広報特別委員会

委員長 荒牧 裕樹
副委員長 小森 弘美
委員 丸山 真智子 佐藤 貴士
稲永 義美 野中 秀樹
藤瀬 康司 安河内 祐子

発行責任者 議長 丸山 卓嗣

ご意見を
聞かせて
ください!

しめ議会だよりアンケート

今後の「しめ議会だより」の編集にいかすため、アンケート調査を行っております。
よりいいものをお届けするために、皆さまの声をお聞かせください。
質問内容は右のとおりです。
こちらの二次元コードを読み込み、スマートフォン等でご回答いただけます。

締め切り

2025年

2月28日迄



質問内容

- 問1 年齢
問2 議会の情報は何を通じて得てますか。
問3 どんなイメージをお持ちですか。
問4 議会だよりは読みやすいと思いますか。
問5 興味をもった記事はありますか。
問6 ご意見を聞かせてください。

お知らせ お気軽に傍聴にお越しください。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。
手話通訳(要申込み)、車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

次回の定例会は
3月3日予定

TEL 935-1262 FAX 935-7070
メールアドレス gikai@town.shime.lg.jp

議会事務局は町役場4階です。